

国立病院機構和歌山病院の実習を終えて



橘 拓也

今回、私は4月12、13日の二日間和歌山病院で実習をさせていただきました。二日間で、普段の医大での実習では学べないことをたくさん学ばせていただきました。医大の実習では、実際に患者さんに行う回診や気管支鏡検査の様子を見学させていただいたりしますが、和歌山病院では、結核病棟の仕組みや実際に患者さんにつけてもらうマスクなどの酸素吸入器具を自分たちでつけさせていただき、実際に自分たちでつけて初めてわかることなどをいろいろ知ることができました。

また、院長先生にはレントゲンの読影の仕方などを教えていただきました。レントゲンに限らず、今まで自分では勉強している気になったまま、頭を使わずに覚えるだけの勉強をしていたか、院長先生に様々なことを聞いていただいたときに実感し、もっと自分の勉強法を見直さなければいけないなど実感しました。単に教科書に書いていることを覚えるのではなく、自分で考え、理解を深めることの大事さを知りました。

明日からの実習も、今回の実習で学んだことや勉強法を活かしていきたいと思います。今回の実習で様々なことを教えてくださった先生方、ありがとうございました。